

令和 7 年第 3 回定例会一般質問通告事項

巻 幡 伸 一 議 員（お の み ち 会）	質問方式：一問一答方式
9	1 尾道市は高齢化社会になり若い世代の人材が活躍して発展させる政策 (1) リモートワーク拠点の整備をする (2) 起業・クリエイティブ支援する (3) 子育て・教育環境の充実を推進する (4) 地域と若者の交流促進の構築は (5) 観光と移住の融合施策を展開は
月	2 海事・船舶・マリンレジャー関連のハイテク産業の創出政策について (1) 次世代造船・海洋技術の拠点化の誘致は (2) マリンレジャー I T の新産業支援は (3) スタートアップ・ベンチャー誘致への提供は (4) マリンレジャーの拡充をしては (5) 人材育成と地域ブランド化し売り込んでは
5	3 尾道市の行政改革は必要か (1) 効率化・デジタル化・財政健全化を目指した流れは不可欠か (2) 尾道市の現状と課題はどうか (3) 行政改革の方向性はどんな内容か
日	4 行政の効率化について (1) 窓口業務はどうか (2) 福祉・介護の業務と A I による活用はどうか (3) 建設関連の予算と入札の透明化図れるか (4) 観光収入へ戦略性の強化はあるか (5) 教育の I C T、事務の電子化はどうか
	5 尾道市の特色に合わせた行政改革施策 (1) 観光客動向を A I で、電子決済、データの行政取得はできるか (2) 高齢化への行政効率とシステム化はどうか (3) 地域資源の行政支援と活用はどうか (4) 尾道市 D X 憲章の策定と参加型ワークショップ

9 月 5 日	6 高齢者ケアDXについて (1) 独居高齢者のAI検知 (2) 遠隔医療・オンライン診療推進図れるか (3) 高齢者の自動応答AIと相談24時間対応できるか (4) 高齢者へもデマンド交通と空白地帯を無くせるか 7 産業連携DXについて (1) 農水産業のデータ活用とECを整備できるか (2) 観光アプリに特産掲載と買い物体験予約は可能か (3) 造船・製造業にIOTを、設計人材不足を補えるか (4) 市・大学・企業連携の「尾道DXラボ」設立できるか 8 尾道市の財政課題について (1) 大型事業による財源不足が予測され、人口減少と税収減は厳しく、国からの交付税削減と社会保障費は増加する見通しで、公共施設の老朽化と維持管理費の増加による効率化が求められる中、経常経費を大幅ダウンするプランはあるか 9 注意すべき視点について (1) 歳入と歳出のバランス悪化はリスクとならないか (2) 借金依存の恐れはないか (3) 長期的視点の欠如はどうか (4) 住民理解と説明責任が重要ではないか
---	---